LE BLEU JOURNAL

ソアヴェ・クラシコの真髄　イナマを知る

今世界のワインラヴァーに愛され飛躍的に人気を集めるワイナリーがイタリアヴェネト州にある。それがINAMAだ。イナマ社の歴史は1965年、ジュゼッペ・イナマがソアヴェ・クラシコの中央に位置するモンテ・フォスカリーノに畑を購入したことから始まる。その目的は「ソアヴェ地区の葡萄を使った最高品質のワインを造ること」。時は流れ2023年、ジュゼッペの意志は子のステファノ・イナマとその3人の子供たちに受け継がれ、INAMAは最高品質のワインを造り出すヴェネトを代表する生産者となった。

イナマの代名詞といえば「ソアヴェ・クラシコ」だ。この礎を作り上げたのが、ジュゼッペが購入した最高区画の畑と、頑固なワイン職人であるステファノの腕。ステファノは自分が納得できないワインはリリースしない。ソアヴェといえば、一昔前の世界的なブームに乗じて大量生産された「がぶ飲みワイン」という悪いイメージがついた時代も存在した。しかし、ステファノはいつも商売よりもクォリティが最優先。流行に乗ることなく、ただただ自分の信じるソアヴェの可能性、品質を追求し続けた。その結果、INAMAはその土地のテロワールを表現し、品格を持つエレガントな唯一無二のソアヴェ・クラシコを生み出した。ステファノの挑戦は留まることを知らない。ボルドーで滅びたカルメネーレ品種をヴェネトで復活させ、カルメネーレ最適の地と信じ、葡萄のポテンシャルを追求し続けた。そして、INAMA社単独のDOCコッリ・ベリチ・カルメネーレ・リゼルヴァが認定されたのだ。ステファノ・イナマはこの土地を愛し、常にテロワールの可能性を信じ続ける。

イナマが迎える新時代

INAMAは、新しい時代に突入した。ステファノの長男マッテオ、次男アレッシオ、三男ルカがINAMAに加わり、新しいワインを生み出している。ステファノの意志を継ぐ長男マッテオはイナマの全体を司る指揮者として、ロンドン留学後ビジネスコンサルティングとしてキャリアを積んだアレッシオはアンバサダーとして世界中を飛び回る。ボルドーで修業したルカはワインの真髄である畑を守る守護神。祖父のジュゼッペが手に入れた最良の畑と、父ステファノが築いたINAMAワインの品格を基に、この3人が新たな時代を切り開く。代々共通するのはルールや流行りに従うのではない、自分の信念を貫きテロワールを表現するワイン造りだ。最先端の土壌研究を取り入れ、テロワールの魅力を最大化する栽培方法、醸造方法を追求する。

Inama brothers。3人が最初に手掛けた「カルボナーレ」のラベルには3人の手が描かれ、新しい時代の始まりを象徴する。

（左）母ドナテッラ、父ステファノ、
（右上から）長男マッテオ、三男ルカ、次男アレッシオ

（上）ジュゼッペが最初に購入した
モンテ・フォスカリーノの畑。
（下）火山性土壌の畑が広がる

家族の絆が紡ぐワイン

忘れてはいけない存在が、頑固で個性的な4人を優しく温かく見守るマンマ、ドナテッラだ。INAMAのワインは厳格で品格のある味わいであるにも関わらず、家庭的な料理にも寄り添い、どこか心温まる。それはドナテッラの作る郷土料理が帰宅した彼らをいつも迎えているからだろう。ドナテッラの包み込む優しさが、彼らのワインに温もりを与えている。ワインとテロワールへの絶えることのない追求と家族の絆が紡ぐワイン。是非一度味わっていただきたい。

イナマを始めるならこの2本
クラシックなソアヴェ（左）と
エレガントなピウ（右）

最新情報はこちらをチェック
wine & food
le bleu
SHOP Instagram